

【足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会】議事録

会 議 名	平成30年度足立区大学病院施設等整備費補助金交付審査会		
開催年月日	平成31年3月6日（水）		
開催時間	午後7時00分 ～ 午後8時50分		
開催場所	足立区役所 12階 1205A会議室		
出席状況	出席委員数：6名 欠席委員数：0名		
出席委員	酒井 雅男 委員 (会長に選出)	芳木 亮介 委員	早川 貴美子 委員
	土田 寛 委員	工藤 信 委員 (副会長に選出)	馬場 優子 委員
事業者 (ヒアリング等 出席事業者)	・学校法人 東京女子医科大学 ・株式会社 梓設計 ・株式会社 大林組		
事務局	衛生部衛生管理課		
審議事項	(1) 審査内容について (2) 項目1「財務状況」および項目2「資金計画」の審査 (3) 項目3「事業計画および工事・建築内容」と項目4「スケジュール」の審査（事業者の説明と質疑応答あり） (4) 全体を通しての審議と採決		
1 開会から諮問まで	<事務局> ・あいさつ ・配付資料の確認 ・委員紹介 ・審議のすすめ方の説明 <工藤委員>（会長選出までの司会） ・定足数の確認による会議の成立 ・会議非公開の確認 ・審査会についての説明 （補助金交付決定の妥当性について確認、審査する旨説明） ・会長選出 （委員の互選により酒井雅男委員が会長に選出） ・副会長選出		

1 開会から諮問まで (つづき)	(会長の指名により工藤信委員が副会長に選出) ・諮問 (足立区長代理で衛生部長から会長へ諮問書授受)
2 審議事項 (1) 審査内容について	<事務局> ・各委員の意見を反映させた審査確認表に基づいて、審査項目、審査内容(各項目「適」「否」で判断)等について説明。 <全委員> ・審査の項目、内容、基準および方法について、審査会の総意のものとして全委員が了承する。
2 審議事項 (2) 項目1 「財務状況」 および項目2 「資金計画」 の審査	<事務局> ・建物(病院棟)の設計、構造、病床数、災害対策など事業の概要について説明。 ◆財務状況◆ <■委員> 平成27年度～29年度の学校法人計算書類、またHP上で公表されているそれ以前の決算数値等も参考に、経営の効率性、成長性、安全性、決算数値の信頼性から総合的に判断した結果、補助金交付を否定するほどの問題点は見受けられなかった。 平成27年度には苦しい時期もあったが、法人の経営努力によりその後の改善は明らかである。 よって、総合評価としては「適」である。 <■委員> 改善理由は何か。 <■委員> 大きな要因の一つとしては、人件費の削減である。 減らせば良いということではなく、少なくとも2、3年前の事業報告書に過剰な人員による運営への影響の記載もあったことから、法人の削減努力による効果であることは明らかである。 <■委員> 有利子負債が高いがこの理由は何か。 <■委員> 借りた資金の使途までは分からない。 ずっと増加傾向にあるが全体のバランスは取れている。

2 審議事項 (2) 項目1 「財務状況」 および項目2 「資金計画」 の審査 (つづき)	< 委員 > 法人全体の経営として病院（医療）と大学（研究教育）の2面ある中、経営効率を図るだけなら人件費を削るだけでも良いが、中長期的に見たら研究教育部門への投資は必要不可欠と考える。そのような視点からして、必要な投資はしっかりされているのか。 < 委員 > 前年度決算の前期比でみて、教育研究経費の支出が平成27年から平成28年は減っているが、平成28年から平成29年は増えている。ノウハウの維持・向上のためと読み取れ、必要な投資はしていると評価できる。 ◆資金計画◆ <事務局> ・学校法人東京女子医科大学の2018年度から2021年度（病院開設予定）までの各年度の事業資金計画（収支予定）について説明。補助金の交付を決定した場合、今年度（2018年度）は、区から16億円の補助となる。 参考：病院棟分の支出予定額（工事費） ①2018年度 2,153,618,172円 ②2019年度 3,230,427,258円 ③2020年度 3,230,427,258円 ④2021年度 12,921,709,032円 < 委員 > 運営費の補助は含まず、工事費のみの補助ということである。また、今回、先進高額医療機器導入経費への補助に関する審査は対象外である。 病院開設後に機器の導入を確認してから、あらためて審査会を開催する予定である。 < 委員 > 建物（病院棟）だけの金額なのか、外構工事費も含めての金額なのか。 <事務局> 外構工事費も含めての金額である。
2 審議事項 (3) 項目3 「事業計画および工事・建築内容」と項目4「スケジュール」の審査（事業者の説明と質疑応答あり）	～〈事業者入室〉～ <事業者>（自己紹介後） ・病院棟の各種図面を参考に、以下の6つの機能が設計に反映されていることを説明。 ①救命救急センターに必要な医療の機能 ②地域災害拠点中核病院に必要な医療の機能 ③地域医療支援病院に必要な医療の機能 ④周産期母子医療センターに必要な医療の機能 ⑤高度急性期に必要な医療の機能 ⑥地域がん診療病院に必要な医療の機能

2 審議事項 (3) 項目3 「事業計画および工事・建築内容」と項目4 「スケジュール」の審査（事業者の説明と質疑応答あり） (つづき)	・他の同規模の病院工事費（1㎡あたりの単価）と比較して、新たな病院棟建設に係る工事費が妥当である旨説明。 ・工事工程表により工期等を説明。 < 委員 > 図面を見る限り、放射線治療を行う予定があるということで良いか。 < 事業者 > 放射線治療のための設備は、設計段階から可能な範囲で準備をしている。治療装置の導入の検討については、今後精査していく予定である。 < 委員 > すぐでなくとも、ぜひお願いしたいところである。がん治療に関して、意外と放射線治療を行う病院は少ない。そういう意味では、がん診療の機能については評価に値するし、大きく期待をしている。 ただ、一点だけ、放射線治療を行う予定の場所の隣に保育所があるのは、 として違和感がある。もちろん、万全の対策を施す予定であることは重々承知している。それ以外は素晴らしい。 < 委員 > 今の意見などに対しては、改善なり、検討なりしてもらえるのか。 < 事業者 > 放射線治療を行う場合に備え、基準よりも十分な遮蔽対応を取っている。安全な遮蔽計画を行うことで、保育所への影響を低減いたします。 < 委員 > 足立区は海水面から高くない。高度医療を担う病院として、水害の危険性がある1F部分の対策等はどうなっているか。 < 事業者 > 救急デッキを2Fに上げたこと以外にも、敷地の最も高い部分から2.5mのマウンドアップを計画している。これにより荒川以外の河川の氾濫時浸水高さ2mはクリアしている。 それ以外の災害対策としては、病院機能を守るために防災センターを設けたり、鉄筋コンクリート造を施したり、地下鉄などで使用される止水扉の設置等を計画している。 < 委員 > 今後、図面が大きく変わってしまうことはあるのか。 < 事業者 > 基本的に大きく変わることはない。
---	---

2 審議事項 (3) 項目3 「事業計画および工事・建築内容」と項目4 「スケジュール」の審査（事業者の説明と質疑応答あり） (つづき)	< 委員 > 資金計画上の付帯工事費とはどういうものか。設備等を入れるにあたっての設置費用などを意味するのか。 < 事業者 > 工事費との明確な区分けはなく、基本的には工事費（約 264 億円）の中で全てを賄う予定である。 < 委員 > 工事費一覧で SRC、SC 造などが見受けられるが、今回の金額は妥当なのか。 < 事業者 > 工事費は、一般的に RC 造が一番安くて、その次に S 造、SRC 造と言われている。今回は、S と SRC のハイブリッドで計画しているが、工事費については工事請負業者に頑張って頂いており、妥当な金額である。 < 委員 > 現在入手困難と言われているボルトの入手は大丈夫か。 < 事業者 > 大丈夫である。 < 委員 > 地域コミュニティの核となる地域とともにある医療機関として、売りにできるような空間、場所等はあるか。 < 事業者 > まちづくりの観点からも区と協力し、区道に隣接する形で緑道の設置などを考えている。 < 委員 > 区としても大学側の協力でセットバックをしてもらい、電線の地中化、道路拡幅など安全性の観点からも対応している。 < 委員 > 例えば、地域住民の憩いの場等、パブリックスペースの創出などを検討していただけたら嬉しい。 ～《事業者退室》～
---	---

2 審議事項 (3) 項目3 「事業計画および工事・建築内容」と項目4 「スケジュール」の審査（事業者の説明と質疑応答あり） (つづき)	< 委員 > に設置の の は、防水対策が徹底されていることを確認してもらいたい。 < 委員 > 総合的な評価は「適」だが、保育所への何らかの配慮は欲しい。 < 委員 > 工期は大丈夫か。 < 委員 > それなりの工事のため、業者も頑張るだろうから大丈夫と思われる。 < 委員 > 土壌汚染に関しては、地歴調査でも区の検査でも問題なかったことは確認済みである。
《 休 憩 》（審査確認表回収および集計）	
2 審議事項 (4) 全体を通しての審議と採決	< 委員 > 審査確認表の集計結果として、6名全委員の総合評価は「適」という判断となっている。よって、当審査会としては、今回、足立区大学病院施設等整備費補助金交付条例及び同条例施行規則に基づき、補助金の交付の申請があった学校法人東京女子医科大学に対する補助金の交付決定については「妥当」とであると決する。 以 上
3 閉会	< 事務局 > ・ 事務連絡